

令和8年度大豆作況試験生育状況（7月25日付け調査）

〔生育概況〕

○5月25日播種（5月25日実施）タンレイ、ミヤギシロメ

6月上旬以降、直近5年平均と比べて概ね低温で推移したため（表1）、「タンレイ」、「ミヤギシロメ」ともに生育は平年と比べやや遅れ、タンレイの開花期は平年より3日遅かった（表2）。

○6月15日播種（6月12日実施）ミヤギシロメ

5月25日播種と同様に、生育は平年と比べやや遅く、生育量も平年と比べやや小さい（表2）。

○7月5日播種（7月6日実施）タンレイ

播種後の適度な降雨により出芽は良好で、生育は平年並み～やや遅い（表2）。

表1 半旬別の気象経過（古川アメダス）

項目	月・旬	5月	6月				7月	
		下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	
平均気温	本年値(℃)	17.1	17.9	19.8	19.9	22.2	25.9	
	平年差①(℃)	+0.3	+0.0	+0.8	-0.2	+0.8	+3.6	
	平年差②(℃)	+0.1	-0.5	-1.6	-2.8	-1.9	+1.7	
積算 日照時間	本年値(h)	62.0	44.8	72.6	53.6	46.3	36.5	
	平年比①(%)	88	73	162	129	120	95	
	平年比②(%)	95	72	111	113	105	88	
積算 降水量	本年値(mm)	77.0	57.5	35.0	175.0	11.0	112.5	
	平年比①(%)	193	208	82	330	18	175	
	平年比②(%)	136	141	115	473	24	96	

注1)「平年差(比)①」は、1991年から2020年の30年間の平均値との差(比)

注2)「平年差(比)②」は、直近5年(2021年～2025年)の平均値との差(比)

表2 生育調査結果（7月24日調査）

播種期	品種名		開花期 (月/日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	総節数 (節/本)
5/25播種 (5/25)	タンレイ	本年値	7/24	60	14.6	3.0	28
		前年差	+6	+3	-0.4	+0.3	-1
		平年差	+3	-12	-0.7	+0.0	-3
	ミヤギシロメ	本年値	—	70	13.9	3.2	28
		前年差	—	+7	-0.8	+0.7	+0
		平年差	—	-8	-0.8	+0.3	-1
6/15播種 (6/12)	ミヤギシロメ	本年値	—	41	10.0	1.4	15
		前年差	—	-5	-1.6	+0.2	-2
		平年差	—	-10	-0.9	-0.2	-2
7/5播種 (7/6)	タンレイ	本年値	—	13	4.4	0.0	—
		前年差	—	-4	-1.1	0.0	—
		平年差	—	-6	-0.4	0.0	—

注1) 平年差は過去5か年(R3からR7)の平均値との差

2) 栽植設定: [5/25及び6/15播種]条間75cm×株間20cm(1株2粒播種)[13.3本/㎡]

[7/5播種]条間75cm×株間10cm(1株2粒播種)[26.7本/㎡]

令和8年度大豆生育調査ほ生育状況（7月25日付け調査）

表 1 調査結果

品種名	普及 センター	栽植密度 (本/㎡)	播種期(月/日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)		
			本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ	仙 台	15.2	6/16	-4日	+1日	24.7	+1.7	-8.3	7.8	-0.3	-1.0	0.0	-0.6	-0.8
	石 巻	13.8	6/11	-5日	-3日	26.3	-13.5	-14.3	9.2	-3.1	-0.3	0.2	-0.7	-0.4
ミヤギ シロメ	大河原	11.6	6/20	-1日	-4日	25.9	-16.0	-3.8	7.7	-2.5	-0.4	0.2	-0.4	-0.2
	仙 台	11.5	6/13	-5日	-2日	31.7	-1.7	-8.5	8.5	-1.2	-1.6	1.5	+0.7	-0.4
	栗 原	11.0	6/11	-	-	32.1	-	-	8.3	-	-	0.8	-	-
	登 米	12.6	6/16	-2日	-3日	26.8	-9.3	-2.6	5.9	-4.1	-2.1	0.2	-1.3	-0.2
	石 巻	11.5	6/12	-5日	+1日	32.9	+2.1	-13.4	8.5	-0.8	-1.3	0.3	-1.5	-0.9
すずみのり	栗 原	10.9	6/14	+3日	-	36.5	-16.0	-	9.9	+1.3	-	0.7	-1.0	-

注1) 平年差は過去5か年の平均値との差を示す

2) 栗原「すずみのり」の平年差及び「ミヤギシロメ」の前年差、平年差は調査ほの変更等のためない